

神奈川県後期高齢者医療広域連合告示第9号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び神奈川県後期高齢者医療広域連合財政状況の公表に関する条例（平成19年神奈川県後期高齢者医療広域連合条例第25号）第2条第1項の規定に基づき、平成26年10月1日から平成27年3月31日までの神奈川県後期高齢者医療広域連合の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成27年6月9日

神奈川県後期高齢者医療広域連合長 林 文 子

神奈川県後期高齢者医療広域連合の財政状況

(平成27年3月31日現在の執行状況をまとめています。)

1 歳入歳出予算の執行状況

(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位 千円)

款	予算現額 A	当該期間の 収入済額	累計 収入済額 B	収入率 B/A	説明
1 分担金及び負担金	1,749,203	1,006,835	1,749,203	100.0%	構成市町村からの負担金
2 国庫支出金	227,368	160,180	169,199	74.4%	国からの補助金等
3 財産収入	351	103	194	55.3%	基金運用利子
4 繰入金	259,818	252,756	252,756	97.3%	臨時特例基金からの繰入金
5 繰越金	205,521	0	205,521	100.0%	前年度からの繰越金
6 諸収入	101	153	259	256.4%	預金利子等
合計	2,442,362	1,420,027	2,377,132	97.3%	

イ 歳出

(単位 千円)

款	予算現額 A	当該期間の 支出済額	累計 支出済額 B	執行率 B/A	説明
1 議会費	1,452	238	668	46.0%	議会運営に係る費用
2 総務費	2,430,909	1,126,478	1,696,650	69.8%	制度運営に係る事務的経費
3 民生費	1	0	0	0%	特別会計への繰出金
4 予備費	10,000	0	0	0%	予算外の支出等に対応するための費用
合計	2,442,362	1,126,716	1,697,318	69.5%	

(2) 後期高齢者医療特別会計

ア 歳入

(単位 千円)

款	予算現額 A	当該期間の 収入済額	累計 収入済額 B	収入率 B/A	説明
1 市町村支出金	150,560,831	86,652,300	146,048,511	97.0%	保険料納付金、療養給付費負担金及び基盤安定制度拠出金
2 国庫支出金	212,168,983	83,793,916	215,164,148	101.4%	調整交付金、療養給付費及び高額医療費負担金等

3 県支出金	60,465,885	37,182,252	57,264,677	94.7%	療養給付費及び高額医療費負担金等
4 支払基金交付金	323,550,603	154,589,187	290,397,337	89.8%	後期高齢者交付金
5 特別高額医療費共同事業交付金	230,621	199,224	199,224	86.4%	特別高額医療費共同事業交付金
6 財産収入	1,150	111	344	29.9%	基金利子
7 繰入金	5,368,257	271,844	7,225,571	134.6%	基金繰入金及び一般会計繰入金
8 繰越金	20,247,349	0	20,247,348	100.0%	前年度からの繰越金
9 県財政安定化基金借入金	1	0	0	0%	県財政安定化基金借入金
10 諸収入	483,014	481,813	817,272	169.2%	第三者納付金及び返納金、預金利子等
合 計	773,076,694	363,170,647	737,364,432	95.4%	

イ 歳出

(単位 千円)

款	予算現額 A	当該期間の 支出済額	累計 支出済額 B	執行率 B/A	説 明
1 保険給付費	744,074,157	363,364,271	662,068,111	89.0%	療養給付費等、審査支払手数料、葬祭費
2 特別高額医療費共同事業拠出金	230,621	175,267	175,267	76.0%	特別高額医療費共同事業拠出金
3 保健事業費	2,186,125	1,709,160	1,709,160	78.2%	健康診査事業補助金
4 基金積立金	13,346,734	9,038,279	13,345,955	100.0%	基金積立金
5 公債費	10,000	0	0	0%	一時借入金利子
6 諸支出金	13,229,057	12,743,078	12,769,308	96.5%	償還金及び還付加算金等
合 計	773,076,694	387,030,055	690,067,801	89.3%	

2 住民の負担状況

平成27年3月31日現在の保険料の賦課状況は次のとおりです。

区分	対象者数(人)	保険料賦課額(円)
保険料	927,394	82,831,999,070

3 財産、公債及び一時借入金の現在高

(1) 財産

区分	3月末現在高(円)	備考
公有財産	なし	
物品	なし	
債権	なし	
基金	564,391,532	後期高齢者医療制度臨時特例基金
	9,038,203,285	後期高齢者医療療養給付費等支払準備基金
	470,591,034	財政調整基金

(2) 公債

3月末現在高 0円

※公債とは、特定の財源に充てるために資金を借入れ、その返済が一会計年度を超えて行われる債務のことをいいます。

(3) 一時借入金

3月末現在高 0円

※一時借入金とは、一会計年度内において歳計現金が不足した場合に借り入れる資金のことをいいます。

4 財政の動向及び財政方針

平成26年度は、ジェネリック医薬品利用差額通知及び重複・頻回受診者訪問指導を初めて実施し、医療費適正化に向けた取組を推進するとともに、健康診査事業や保険料収納対策などを引き続き市町村と一体となって取り組み、安定的な制度運営に努めてまいりました。

また、平成26年度下半期には、平成26年度補正予算及び平成27年度予算を策定し、平成27年広域連合議会第1回定例会において承認されました。

平成27年度一般会計の予算編成においては、被保険者証の一斉更新がないことなどから、予算総額は、平成26年度当初予算と比べ、6.4%の減額となりました。特別会計においては、予算額算出の基礎となる、一人あたり医療費については、伸び率が鈍化しているものの、被保険数は、約4万人の増加が見込まれ、医療給付費の増加も見込まれることから、予算総額は、平成26年度当初予算と比べ、3.2%の増額となりました。

平成27年1月に「医療保険制度改革骨子」が決定され、医療費適正化や負担の公平化、保険料軽減特例の段階的縮小、高齢者の特性に応じた保健事業の実施など、後期高齢者医療にも大きく影響する事項が盛り込まれました。広域連合においては、今後の国の動向を注視しながら、常に最新の情報収集に努め、引き続き現行制度の下で、被保険者が安心して医療サービスの提供を受けられるよう、最大限の努力をしていくとともに、歳入歳出両面の改善に取り組み、健全な財政運営に努めてまいります。